

令和4年度「ほっかいどう未来チャレンジ応援会議」
学生留学・スポーツ・文化芸術・未来の匠部会議事録

1 日 時 令和4年12月15日（木）14時～14時42分

2 場 所 オンライン形式（zoom）及び北海道庁本庁舎塔屋会議室

3 出席者 別紙出席者一覧のとおり

4 議 題

- (1) 令和4年度北海道未来人財応援事業の実施状況等について
- (2) 令和5年度北海道未来人財応援事業について
- (3) その他

5 議 事

- (1) 議題1（令和4年度北海道未来人財応援事業の実施状況等について）

ア 事務局（山田主幹）から資料1に基づき説明

（特記事項）なし

イ 質疑応答（無）

- (2) 議題2（令和5年度北海道未来人財応援事業について）

ア 事務局（山田主幹）から資料2-1～2-2に基づき説明

（特記事項）なし

イ 質疑応答（●質疑 ○事務局回答）

● 「資料2-1」【募集要項の改正】で、面接については感染症の状況に関わらず、オンライン形式での実施を可能としたとのことだが、現状、あらゆる分野でオンライン化が進んでいることから、感染症の状況に関わらず今後も積極的に活用してほしい。

○ 応募者には遠方の方もいることも想定し、オンライン形式を積極的に活用したい。

● 「資料2-1」【事業規模】では、学生と他コースの採用人数について柔軟に運用することだが、仮に学生の応募が多かった場合に予算の許す限り採用すると、留学生の質が落ちる懸念がある。また、基金を大事に使っていく意味でも留学生の質については確保する必要があると思うが如何。

○ 運用の変更は優秀な学生が多く応募した場合に、予算運用の縛りで落とさなければならない状況を回避するためのもの。今後も採用の基準は保ち、留学生の質は確保していかなければならないと認識している。

- (3) その他

（特記事項）なし

以上